

全建緊急アンケート

－ 中東情勢に伴う建設資材の需給に関する緊急調査（5月期） －

令和8年5月29日



調査概要

【調査の目的】

中東情勢の影響等により、各種建設資材において価格改定や調達に対する懸念が継続して生じている状況を踏まえ、令和8年4月の調査に引き続き、現時点における最新の建設資材の調達状況等を把握することを目的として実施する。

【調査の内容】

「全国建設業協会統一様式 おそれ情報通知書」に記載している主要な資機材に加え、今般の中東情勢の影響が大きいと考えられる資材を追加した計71種の建設資材について、現在生じている課題及び将来の見通し・要望事項を調査するとともに、前回調査時と今回調査時における比較分析を行う。

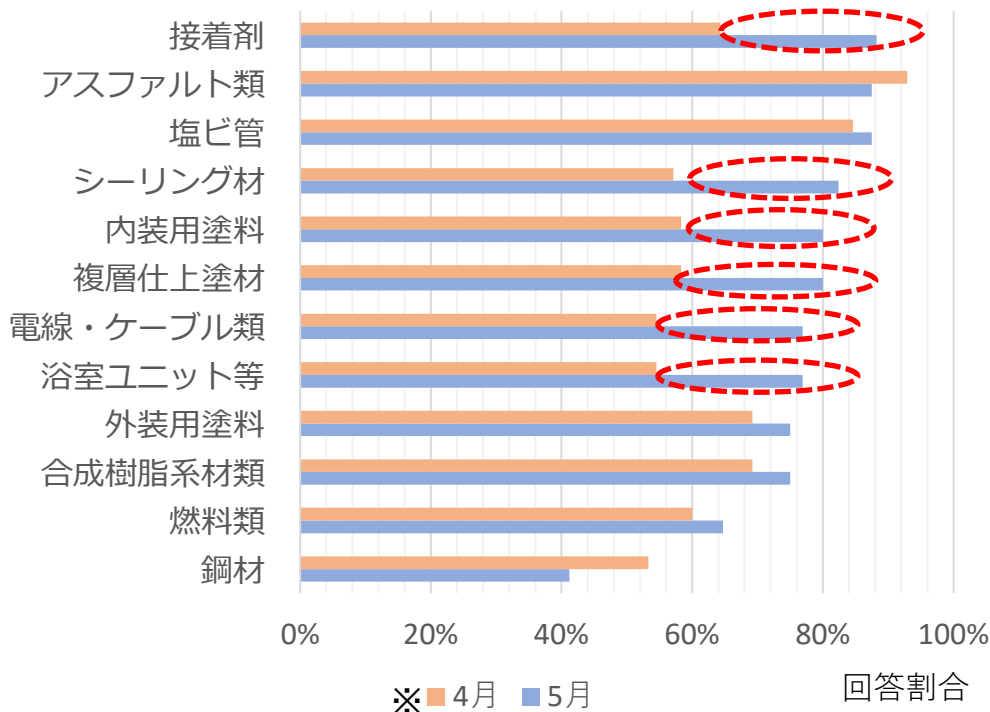
【実施概要】

- ・調査期間 令和8年5月
- ・調査対象 全国建設業協会の土木専門委員会および建築専門委員会の委員企業のうち18社

価格高騰が生じている建設資材

アスファルト類、塩ビ管等の資材において価格高騰が継続しているほか、4月に比べて接着剤、シーリング材、内装用塗料、複層仕上塗材、電線・ケーブル類、浴室ユニット等で回答割合が増加。
燃料費・物流費の上昇を背景に、引き続き建設資材全般で価格高騰。

価格高騰が生じている主な建設資材



接着剤・シーリング材・塗料関係・
電線・ケーブル類・浴室ユニット等の
回答割合が急増！
ほぼ全ての建設資材で価格が高騰！

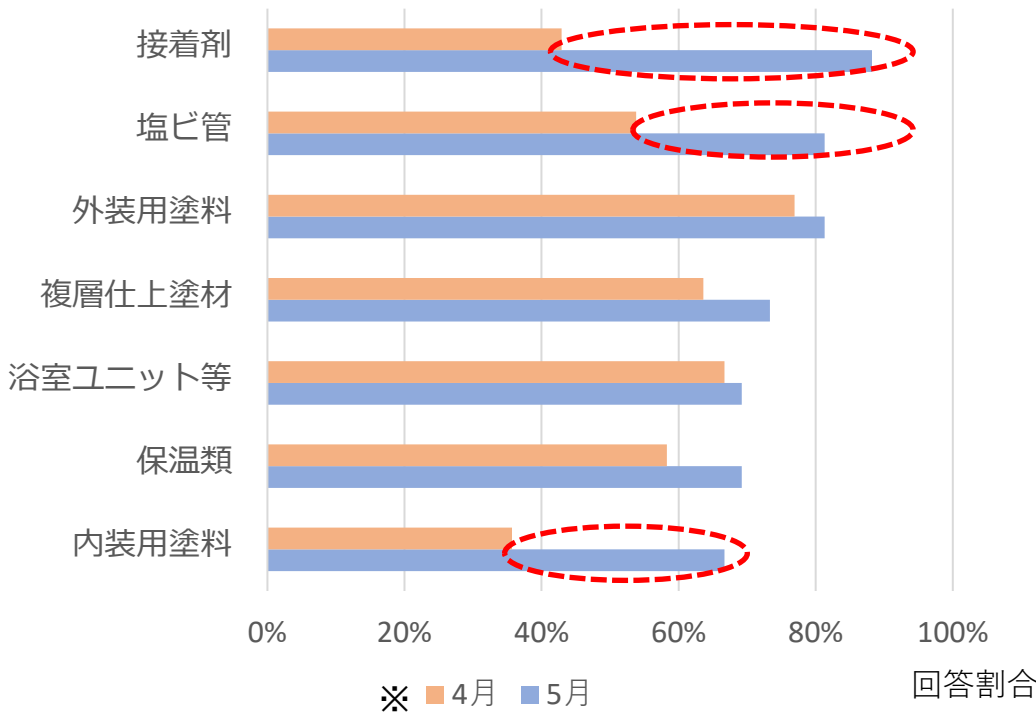
- (会員から寄せられた価格高騰に関する状況)
- 石油化学系資材の価格高騰
 - ・ 塩ビ製品、塗料、断熱材、接着剤等で価格高騰が継続
 - ・ 防水材：最大40%上昇、塗装材料：最大30%上昇、シンナー：最大80%上昇、接着剤：最大20%以上上昇
 - 断熱材：最大40%上昇
 - 鋼材・アスファルト等の価格上昇
 - ・ A S 合材が高騰
 - ・ 鋼材価格が前年同期比で20%上昇
 - その他
 - ・ 運搬費の上昇により、全資材の価格が高騰

※4月の回答割合については、使用していない回答が母数に含まれていたため、母数に含まれないよう回答割合を修正しています。

入荷の遅延が生じている建設資材

4月調査に引き続き、外装用塗料、複層仕上塗材、浴室ユニット等において入荷遅延が継続しているほか、接着剤、塩ビ管、内装用塗料について5月に入ってから入荷遅延の回答割合が大幅に増加。塩ビ管・断熱材等の納期の長期化や塗料・接着剤等の出荷制限の継続に加え、高圧ケーブル等の設備機器の入荷遅延も発生。

入荷遅延が生じている主な建設資材



接着剤・塩ビ管・浴室ユニット等・
シーリング材の入荷遅延が
4月より急増！
塗料関係は入荷遅延が継続！

(会員から寄せられた入荷遅延に関する状況)

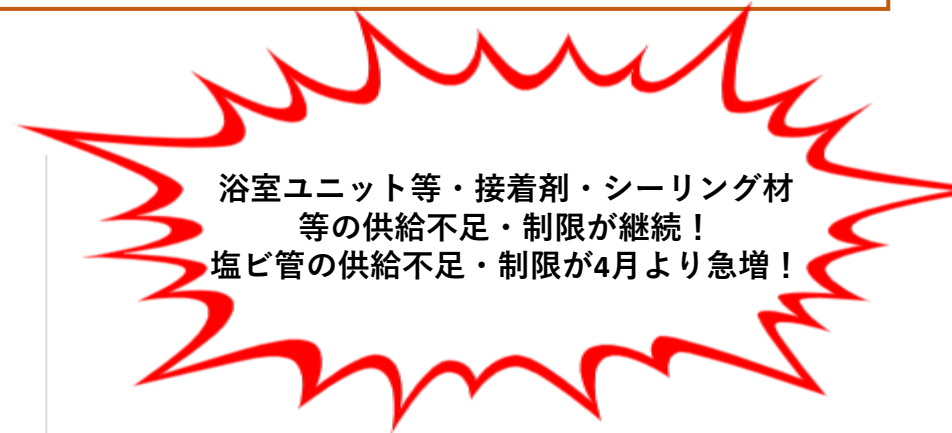
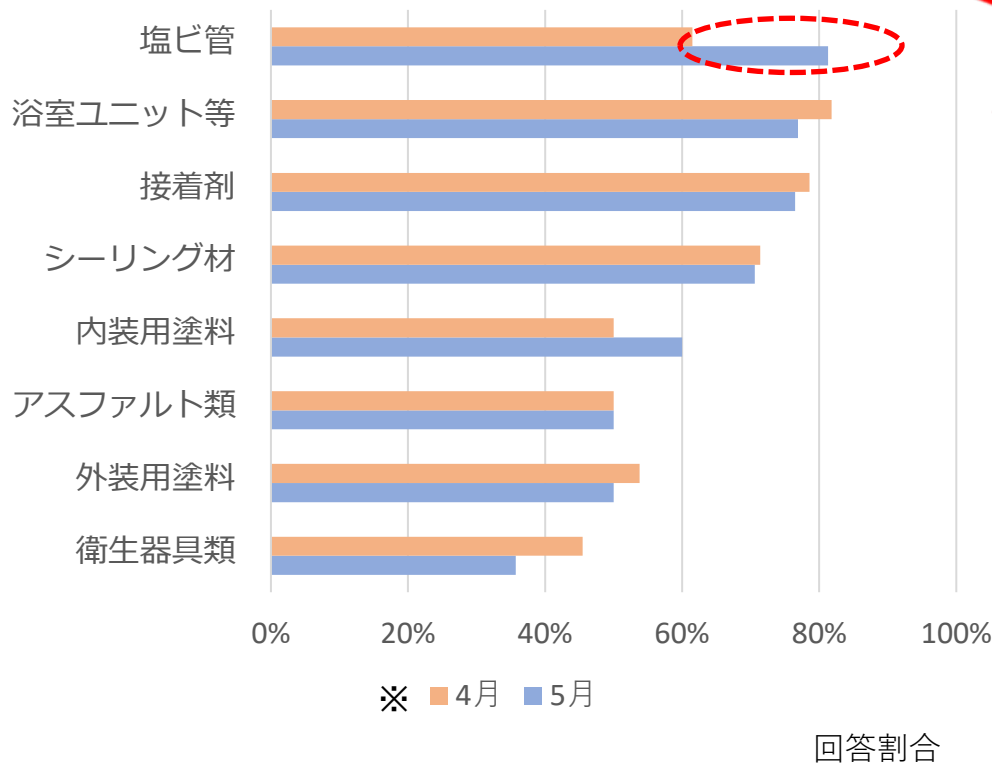
- 塩ビ管・断熱材等の納期長期化
 - ・塩ビ管について納期不明との声あり
 - ・断熱材について受付停止・納期未定が発生
- 塗料・接着剤等の出荷制限
 - ・塗料・シーリング材について発注受付停止の事例あり
 - ・床材用接着剤について納期未定との声あり
 - ・シンナー不足により錆止め塗料の納期未定が発生
- 設備機器等への影響
 - ・高圧ケーブルについて納期回答が困難な状況
 - ・住宅設備機器について納期遅延が発生

※4月の回答割合については、使用していない回答が母数に含まれていたため、母数に含まれないよう回答割合を修正しています。

供給不足・制限が発生している建設資材

4月調査に引き続き、浴室ユニット・接着剤・シーリング材の供給不足・出荷制限が広範囲で継続。
また、5月に入ってから特に塩ビ管の供給不足・出荷制限が顕著に増加。

供給不足・制限が発生している建設資材



浴室ユニット等・接着剤・シーリング材等の供給不足・制限が継続！
塩ビ管の供給不足・制限が4月より急増！

(会員から寄せられた供給不足・制限に関する状況)

- 塗料・溶剤系 (シンナー・接着剤)
 - ・接着剤：主要メーカーの出荷停止解除後も入手が困難な状況が継続
 - ・給湯器・盤メーカーより指定色塗装不可→標準色のみ対応に制限
- 断熱材・防水材
 - ・ウレタンフォーム断熱材：当面の販売停止、再開時期未定
 - ・板状断熱材：入荷なし、納期も不明
- 塩ビ管・住宅設備・電気設備
 - ・塩ビ管：出荷停止、受注制限
 - ・シャワーユニット：各メーカー受注停止、再開時期不明
 - ・高圧ケーブル等：受注制限・納期回答未定の連絡

※4月の回答割合については、使用していない回答が母数に含まれていたため、母数に含まれないよう回答割合を修正しています。

会員による今後の見通し

■今後の価格高騰が懸念される建設資材

- ・油脂類、ゴム系を原材料としている資材は特に価格が上昇すると聞いている。
- ・現時点で2026年5月～7月にかけて複数メーカーの価格改定予定が公表されている。
- ・塩化ビニル管の3割程度の値上げ情報有り。時期は未定。
- ・内装建材メーカー製品：8/3受注分から衛生器具（トイレ、浴室13%程度値上げ、タイル12%程度値上げ、キッチン10%程度値上げ）
- ・AS合材の更なる高騰が続く見込み。

■今後の入荷遅延が懸念される建設資材

- ・生産調整や原料不足の影響により、納期遅延の長期化が懸念される。
- ・一部メーカーでは納期回答未定の状態が続いており、工事工程への影響が拡大する可能性がある。
- ・物流面でも輸送コスト上昇や船便遅延等が発生する可能性がある。
- ・企業による資材の抱え込みの状況がある。
- ・照明・変圧器納期が8～10ヶ月程度必要との通知有り。
- ・樹脂製品の不足にともない、照明器具・ブレーカー等の納期遅延が予想される

■今後の供給不足・制限が懸念される建設資材

- ・塩ビ管不足により代替資材（鋼管）の不足懸念同様に代替資材が不足してくる可能性。
- ・AS合材の価格高騰と完全予約出荷。現時点で5月末までの出荷は確保出来ているが6月以降は不透明との回答あり。
- ・塩ビ管が調達できない状況。
- ・アスファルト合材の供給制限が予想される。
- ・下水道用塩ビ管について、6月分の供給は確保できているが、その後は不透明な状況。

会員からの意見・要望等

(会員から寄せられた主な要望等)

■ 価格転嫁

- ・ 契約済工事に対する単価スライドの随時実施。
- ・ 公共工事における単品スライド条項の柔軟かつ迅速な適用。
- ・ 急激な価格変動に対応するための契約後価格改定協議。
- ・ 物流費・燃料費上昇分の適切な価格転嫁。
- ・ 資材価格高騰分の適切な設計変更。
- ・ 代替資材使用時における設計変更手続きの簡素化。
- ・ 国に準じた県・市における変更協議への対応。
- ・ 単品スライド手続きの簡素化と受注者負担1.0%の廃止。
- ・ 各種資材で価格が上昇しても単品スライドが適用となるケースは少ない（請負額の1%超）ことから、受注者負担軽減のため、変更契約を要望。

■ 工期延長・工程管理

- ・ 納期末定・供給制限に伴う柔軟な工期延長対応。
- ・ 工程変更・施工時期変更への柔軟な対応。
- ・ 現状に応じた適切な発注時の工期設定。

■ 資金繰り・経営支援

- ・ 中小事業者に対する支援の検討。
- ・ 工期長期化等に伴う受注者への適切な経費支払い。
- ・ 資材高騰による事業計画の見直し・廃止を防ぐため、資材高騰部分に対する補助制度の創設。

■ 供給・調達環境

- ・ 資材供給状況に関する迅速な情報提供。
- ・ 出荷制限・供給不足を踏まえた柔軟な発注者対応。
- ・ 代替資材使用に対する柔軟な承認対応。
- ・ 安定的な資材供給体制の確保。

前回（4月）から現在（5月）の状況変化

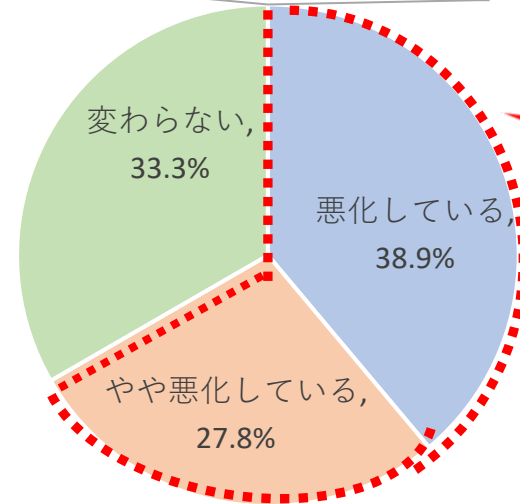
全体を通して、前月（4月）と現在（5月）の状況の変化にかかる質問について、

- 前回よりも「悪化」と「やや悪化」の回答が66.7%
- 前回と「変わらない」の回答が37.3%
- 前回よりも「改善」と「やや改善」の回答が0%

回答割合

やや改善している, 0.0%

改善している, 0.0%



悪化している・
やや悪化しているの
回答割合が66.7%！！

- 悪化している
- やや悪化している
- 変わらない
- やや改善している
- 改善している